

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2007年5月14日~5月18日)

発表日: 2007年5月11日(金)

~ 1-3月期は高成長がコンセンサス。4-6月期は鈍化の可能性も~

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

<5月14日~5月18日の主なイベント、指標予定>

	指標名	当社予測	予測値	予測レンジ	前回結果	
5月14日 (月)	8:50 3月国際収支 経常収支(前年比) (原数値)	+27.5% 30,880 億円	— 29,600 億円	— 26,200~32,000 億円	+4.9% 24,175 億円	
	8:50 4月企業物価 (前月比) (前年比)	+0.3% +1.7%	+0.3% +1.7%	▲0.2~+0.7% +0.8~+2.4%	+0.3% +2.0%	
5月15日 (火)	8:50 3月機械受注 船電除く民需 (前月比) (前年比)	+3.0% +3.9%	+1.4% +2.1%	▲2.9~+3.5% ▲2.0~+4.6%	▲5.2% ▲4.2%	
	5月16日 (水)	8:50 4月製造業部門別投入・産出物価指数 交易条件 (前月差) (前年差)	— —	— —	— —	▲0.2%pt ▲2.1%pt
5月16日 (水)	13:30 3月鉱工業生産指数・確報 鉱工業生産指数(前月比) (前年比)	— —	— —	— —	▲0.6% +1.6%	
		稼働率指数 (前月比)	—	—	—	+0.4%
		生産能力指数 (前年比)	—	—	—	+1.8%
	13:30 3月商業販売統計・確報 小売業販売額(前年比)	— —	— —	— —	— —	▲0.7%
	14:00 4月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯)	— —	— —	— —	— —	46.8
		金融政策決定会合(~17日)				
	5月17日 (木)	8:30 5月ロイター短観 製造業DI 非製造業DI	— —	— —	— —	28 26
5月17日 (木)	8:50 1~3月期 GDP 速報 実質 GDP 成長率 (前期比) (同年率)	+0.6% +2.5%	+0.7% +2.7%	+0.3~+0.8% +1.0~+3.4%	+1.3% +5.5%	
		名目 GDP 成長率 (前期比)	+0.5%	—	—	+1.4%
		GDP デフレーター (前年比)	▲0.4%	▲0.4%	▲0.7~▲0.2%	▲0.5%
	15:00 5月金融経済月報 15:30 日銀総裁定例記者会見					
5月18日 (金)	8:50 3月第3次産業活動指数 (前月比) (前年比)	▲0.7% +2.2%	▲0.7% —	▲1.6~+0.3% —	+1.0% +1.7%	
	10:30 3月毎月勤労統計・確報 名目賃金 (前年比)	— —	— —	— —	— ▲0.4%	
	14:00 3月建設総合統計	—	—	—	—	
	14:00 3月景気動向指数改訂値 DI先行指数 DI一致指数	— —	— —	— —	40.0% 22.2%	
	14:30 4月全国百貨店売上高 (店舗数調整後前年比)	—	—	—	—	▲1.5%
	未定	5月月例経済報告				

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【注目ポイント】

注目はやはり 1-3月期GDP (17日公表)。コンセンサスは前期比+0.7% (前期比年率+2.7%)。昨年10-12月期に前期比年率+5.5%と高い伸びとなった後にもかかわらず、潜在成長率を上回る成長を続けた模様だ。主因は個人消費と外需の健闘。個人消費は、暖冬の影響で季節衣料が好調だったことや、サービ

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ス消費が伸びたことがプラスに寄与した。輸出については、米国経済減速にもかかわらずアジア向け輸出の好調さがそれを補う形になっている。ただし、天候要因によって消費が押し上げられたことにより1-3月期の成長率は嵩上げされているとの指摘が存在し、4-6月期には反動が出るとの見方も多い。鉱工業生産が足元でやや弱めの動きになっていることもあって、なかなか手放しで喜ぶという状況にはなっていないようだ。「足元高成長。先行きには一抹の不安も」といった評価だろうか。

なお、17日には日銀福井総裁の定例記者会見も行われる。今年2月に行われた利上げに際しては、10-12月期GDPが高成長になったことが最後の決め手になったとの見方も多いため、今回も福井総裁による1-3月期GDPの評価は注目される。もっとも、前述の通り先行きにやや不安が残ることもあり、日銀としても利上げを前倒しするほどには強気になれない可能性が高いと思われる。

15日に公表される3月機械受注も重要。コンセンサスは前月比+1.4%となっている。コンセンサス通りであれば、10-12月期、1-3月期と2四半期連続の前期比増加になる。拡大ペースは鈍化しているものの、均してみれば設備投資は緩やかな増加基調が続いているという評価が多くなりそうだ。今回注目されるのは、07年4-6月期の見通し。単純集計値ベースで見通しがある程度はつきりとしたプラスであれば、先行きの設備投資に対して安心感が生まれる。逆にマイナスになるようなら、弱気な見方も増えてくるだろう。なお、内閣府見通しは、集計値に過去3四半期の達成率を乗じて計算されるのだが、06年7-9月、10-12月の達成率が低水準であることから、4-6月期の内閣府見通しは集計値よりもかなり低めに算出される可能性が高い。そのため、設備投資の実勢を見極めるためには単純集計値を見たほうが良いだろう。また、今回は季節調整替えが行われ、過去に遡ってデータが改訂されることから、過去のイメージが変わってしまう可能性があることにも注意しておく必要がある。

その他では、4月全国百貨店売上高（18日公表）も比較的重要。個人消費は1-3月期に好調だったが、4-6月期に反動が出ていないかどうかを確認する必要がある。なお、先日公表された4月景気ウォッチャー調査では、気温低下の影響で春夏物衣料が不振だったことから家計動向関連はやや悪化していた。百貨店販売も同様の動きか。

4月企業物価（14日公表）は、前月比+0.3%と2ヵ月連続の上昇が予想されている。原油や非鉄といった国際商品市況の上昇が寄与する（前年比では、昨年の裏が出ることから伸び率は低下）。このように、企業物価は足元で下げ止まり感も出てきている。もっとも、より川下に近く、CPIとの関連で重要な最終財（消費財）価格については引き続き低迷が予想される。物価上昇圧力は極めて軽微であることが確認できるだろう。

（主任エコノミスト：新家義貴）

【重要指標の当社予測とコメント】

3月国際収支・経常収支（原数値） **当社予想：3兆880億円** **中央値：2兆9600億円**

3月の経常黒字額は前年比+27.5%、原数値で3兆880億円を予測する。3月は輸出が堅調だった一方で輸入が原油価格の下落から横ばいとどまったことから貿易黒字額は大幅に拡大した。サービス収支は赤字幅が縮小した可能性が高く、所得黒字額についても前年を上回ったとみられることから、3月の経常黒字額は前年から大幅に増加する見込みである。（副主任エコノミスト：長谷山則昭）

3月機械受注・船電除く民需（前月比） **当社予想：前月比+3.0%** **中央値：同+1.4%**

前月比+3.0%と2ヵ月ぶりの増加を予想。仮に予想通りであれば1-3月期は前期比+2.0%と2四半期連続での増加となる。好調な企業収益、高水準の稼働率等を背景に、機械受注は均してみれば緩やかな増加基調にあることが確認されるだろう。なお、今月は季節調整替えが行われることから、過去の値が改訂されることには注意する必要がある。（主任エコノミスト：新家義貴）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

1-3月期GDP 1次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率+2.5% 中央値：同+2.7%

2007年1～3月期の実質GDP成長率は前期比+0.6%（同年率+2.5%）と、潜在成長率を上回ると予測する。2006年10-12月期に前期比年率+5.5%もの高成長を記録した後だけに反動も懸念されていたが、ふたをあけてみれば1-3月期は予想外に堅調な姿になったと思われる。1-3月期の牽引役となったのは、個人消費と外需である。個人消費は前期比+0.9%と、10-12月期の同+1.0%に続いて高い伸びになるとみられる。暖冬の影響で春物衣料の売れ行きが好調だったことや、外出機会の増加に伴ってサービス消費が増加したことなどが寄与した模様だ。また、外需寄与度も前期比+0.3%ポイントと成長率を押し上げる。1-3月期の鉱工業生産が前期比マイナスとなり、製造業部門の減速が目立っているが、非製造業部門を含めた経済全体で見れば、1-3月期はむしろ好調だったと言えそうだ。

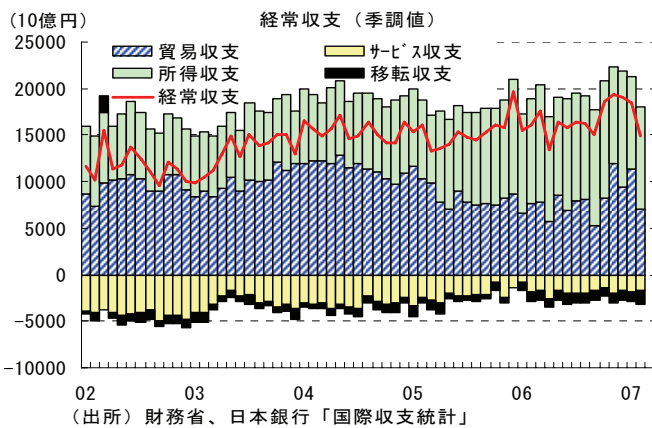
（主任エコノミスト：新家義貴）

3月第3次産業活動指数（前月比） 当社予想：前月比▲0.7% 中央値：同▲0.7%

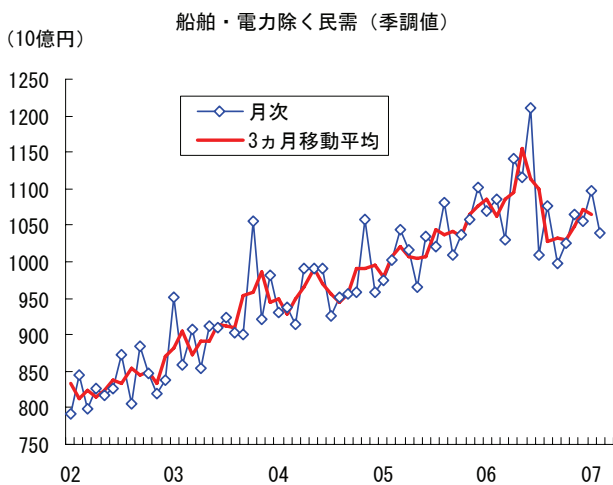
前月比▲0.7%と2ヶ月ぶりのマイナスが予想される。気温低下の影響等で卸・小売業が落ち込むことが主因。もっとも、3月の低下は、2月に大きく上昇した反動の面も大きい。実際、1-3月期で見れば前期比+0.6%と2四半期連続上昇が見込まれるなど、第3次産業活動指数の緩やかな上昇傾向に変化はない。

（主任エコノミスト：新家義貴）

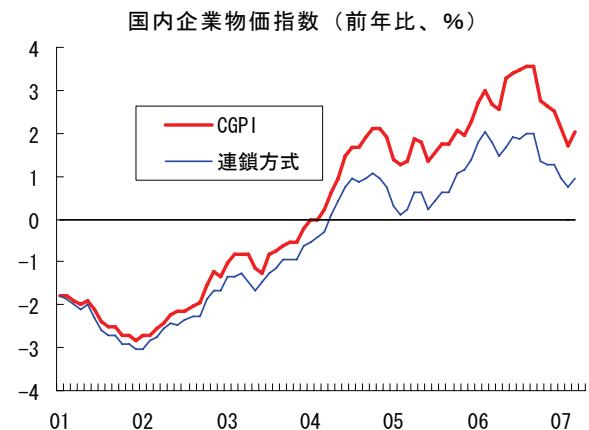
図表1



図表3



図表2



図表4

2007年1-3月期GDP予測（第一生命経済研究所）

	実質		名目
	前期比	前期比年率	前期比
国内総生産(GDP)	0.6	2.5	0.5
内需寄与度	0.3		0.3
外需寄与度	0.3		0.2
民間最終消費支出	0.9	3.6	0.8
民間住宅	▲0.6	▲2.4	0.0
民間企業設備	▲0.4	▲1.6	▲0.3
民間在庫品増加(寄与度)	▲0.1	▲0.5	▲0.2
政府最終消費支出	0.2	0.8	0.2
公的固定資本形成	▲0.6	▲2.4	0.1
財貨・サービスの輸出	3.0	12.6	2.9
財貨・サービスの輸入	1.0	4.1	1.7

GDPデフレーター(前年比)	▲0.4
国内需要デフレーター(前年比)	▲0.3

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

5月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
30 (米)3月個人所得・消費 (米)4月シカゴPMI (米)3月建設支出 (欧)4月消費者物価(速)	5/1 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) 4月BOJ展望レポート(全文) (14:00) (米)3月中古住宅販売保留 (米)4月ISM製造業指数	2 4月マネタリーベース(8:50) (米)4月自動車販売台数総計 (米)3月製造業受注 (欧)4月製造業PMI	3 (米)4月ISM非製造業指数 (米)1-3月期非農業部門労働生産性	4 (米)4月雇用統計
7 金融政策決定会合議事要旨 (3月19・20日分)(14:00)	8 3月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)3月卸売在庫	9 3月景気動向指数(14:00) (米)FOMC	10 4月マネーサプライ(8:50) 4月貸出・資金吸収(8:50) 4月景気ウォッチャー(16:00) 福井日銀総裁講演 (米)3月貿易収支 (米)4月輸入物価 (米)4月財政収支 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	11 (米)4月生産者物価 (米)4月小売売上高 (米)3月企業在庫
14 3月国際収支(8:50) 4月企業物価(8:50)	15 3月機械受注(8:50) 5年利付国債 (米)4月消費者物価 (米)5月NY連銀製造業指数 (米)3月対米証券投資 (米)5月NAHB住宅指数 (欧)1-3月期実質GDP (独)1-3月期実質GDP (仏)1-3月期実質GDP (伊)1-3月期実質GDP ※(インドネシア)1-3月期実質GDP	16 4月投入・産出物価指数(8:50) 3月鉱工業指数・確(13:30) 3月商業販売統計・確(13:30) 4月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～17日) (米)4月住宅着工件数 (米)4月建設許可件数 (米)4月鉱工業生産	17 5月ロイター短観(8:30) 1-3月期GDP速報(8:50) 5月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※5月月例経済報告 (米)4月景気先行指数	18 3月第3次産業活動指数(8:50) 3月毎月勤労統計・確(10:30) 3月建設総合統計(14:00) 3月景気動向指数改訂(14:00) ※4月全国百貨店売上高 (米)5月シカンズセンチ(速) (香港)1-3月期実質GDP
21 4月コンビニエンスストア統計(16:00) ※06年3月市街地価格指数 (10:00)	22 金融政策決定会合議事要旨 (4月9・10日分) ※4月チェーンストア販売統計 15年変動利付国債 (台湾)1-3月期実質GDP ※(マレーシア)1-3月期実質GDP	23 3月全産業活動指数(8:50) 福井日銀総裁講演	24 20年利付国債 ※4月貿易統計(8:50) (米)4月耐久財受注 (米)4月新築住宅販売件数 (米)4月中古住宅販売件数 (独)IFO景況感指数	25 4月消費者物価・全(8:30) 5月消費者物価・都(8:30)
28 4月CSPI(8:50) 福井日銀総裁講演	29 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債	30 4月鉱工業指数(8:50) 福井日銀総裁講演	31 4月住宅着工統計(14:00) 4月毎月勤労統計(10:30) (米)1-3月期実質GDP(改定値) (米)5月シカゴPMI (米)4月建設支出 (米)4月求人広告指数 (欧)5月消費者物価(速) (インド)1-3月期実質GDP (フィリピン)1-3月期実質GDP	6/1 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) 4月消費状況調査(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)4月PCEデフレーター (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月ISM製造業指数 (米)5月シカンズセンチ(確) (米)5月自動車販売 (米)5月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

6月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
28 4月CSPI(8:50) 福井日銀総裁講演	29 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債	30 4月鉱工業指数(8:50)	31 4月住宅着工統計(14:00) 4月毎月勤労統計(10:30) (米)1-3月期実質GDP(改定値) (米)5月シカゴPMI (米)4月建設支出 (米)4月求人広告指数 (欧)5月消費者物価(速) (インド)1-3月期実質GDP (フィリピン)1-3月期実質GDP	6/1 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) 4月家計消費状況調査(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)4月PCEデフレーター (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月ISM製造業指数 (米)5月シカン大センチ(確) (米)5月自動車販売 (米)5月雇用統計
4 1~3月期法人企業統計(8:50) 5月マネタリーベース(8:50) (米)4月製造業受注 (タイ)1-3月期実質GDP	5 10年利付国債 (米)5月ISM非製造業指数	6 4月景気動向指数(14:00) (米)1-3月期非農業部門労働生産性(確) (欧)ECB理事会	7 10年物価連動国債 ※5月景気ウォッチャー (英)BOE金融政策委員会	8 4月機械受注(8:50) 5月マネーサプライ(8:50) 5月貸出・資金吸収(8:50) (米)4月貿易収支
11 1-3月期GDP2次速報(8:50)	12 5年利付国債 5月企業物価(8:50) 5月消費動向調査(14:00) (米)5月財政収支	13 4月国際収支(8:50) 4月商業販売統計・確(13:30) 4月鉱工業指数・確(13:30) (米)ベージュブック (米)輸入物価 (米)小売売上高 (米)企業在庫	14 5月投入・産出物価指数(8:50) 金融政策決定会合(～15日)	15 4月第3次産業活動指数(8:50) 1~3月期資金循環(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) 4月景気動向指数改訂(14:00) 6月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※6月月例経済報告 (米)5月消費者物価 (米)6月NY連銀製造業指数 (米)4月対米証券投資 (米)5月鉱工業生産 (米)6月シカン大消費者センチ(速)
18 4月建設総合統計(14:00) (米)6月NAHB住宅市場指数	19 6月ロイター短観(8:30) ※5月全国百貨店売上高 (米)5月住宅着工件数 (米)5月建設許可件数	20 4月全産業活動指数(8:50) 4~6月期法人企業景気予測調査(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(4月27日/5月16・17日分) 5月コンビニエンスストア統計(16:00)	21 20年利付国債 ※5月貿易統計(8:50) (米)5月景気先行指標総合指数 (米)6月フィラ連銀指数	22 ※5月チェーンストア販売統計
25 (米)5月中古住宅販売件数 ※(独)6月IFO景況感指数	26 2年利付国債 5月CSPI(8:50) (米)5月新築住宅販売件数	27 5月商業販売統計(8:50) (米)5月耐久財受注	28 5月鉱工業指数(8:50) (米)FOMC (米)1-3月期実質GDP(確) (米)5月求人広告件数	29 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)5月個人所得・消費 (米)6月シカゴPMI (米)5月建設支出 (米)6月シカン大消費者センチ(確) (米)6月ISM製造業指数 (欧)6月消費者物価(速)

(※)印は日時が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。